南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
平成３１年３月号
担当（山田）
NO.77

無名のキリスト者

> 神様の存在も神様の教えも知らないけれども，神様から与えられた良心に忠実に従って生活し隣人愛を実行している人は，自分が知らないうちに神様からお恵みを受けている。そういう人は「無名のキリスト者」と呼ばれ，救いが得られる。

と唱えた神学者がいます。

洗礼を受けてカトリック信徒になった人には，ペトロやフランシスコ，マリアやクララなどの洗礼名（霊名）が付けられます。霊名が付けられるのは，その聖人を模範として生涯を生きるため，また，その聖人の取次ぎを願って神様に祈るためです。

現在，南山の大半の小学生はカトリック信徒ではありません。当然，霊名もありません。けれども，６年の間には，神父様やシスター方の話，あるいは宗教的な行事などを通して神様と出会い，その教えを学んでいきます。子どもたちが神様の教えの中で心正しく生活していくならば，例え霊名がなくても，上記とは違った意味で「無名のキリスト者」と呼ばれていいかもしれません。

一人の卒業生を紹介します。十数年も前のことです。

「先生，わたしのこと，覚えていますか？」

と，Mさんがひょっこり現れたのは，卒業してから１０年以上も経ち立派な社会人になってからのことでした。実はこのMさん，いわゆる転勤族の家庭の子で，５年生の途中で転入してきたために，南山小学校に在籍していたのは１年とちょっとの間だけでした。卒業後も他県に転居していたので，ほんとに久しぶりの長崎だったようです。

「もちろん覚えているよ，Mさんでしょう。ところで，今日はどうしたの？」

と聞いてみると，

> 用事があって１０年以上ぶりに長崎に来たら小学生の頃のことを懐かしく思い出して，お祈りを聖堂でしたくなりました。今，お祈りを済ませて先生方に会いに来たところです。

というのです。Mさんは，「懐かしい校舎やグランドを見るため」，「先生たちに会うため」よりも先に「聖堂で祈るため」と言ったのです。

高学年になって公立小学校から転入してきたMさんにとって，南山での祈りや聖歌はそれまでに経験したことのない驚きであったに違いありません。それだけに，祈る心が強烈に焼き付けられて，いつまでも忘れないでいたのだと思います。同時に，神様のお恵みがMさんの中に働き続けていたのだと思います。Mさんも「無名のキリスト者」であり続けていたといえそうです。

卒業・進学のこの時期になると，かつての卒業生たちが懐かしい顔を見せてくれます。今年も，先々週あたりから連日のように数名ずつが職員室のドアをたたき，「高校を卒業しました」「〇〇大学に進学が決まりました」などと近況を知らせてくれています。進路の準備に忙しい中でありながら母校に顔を出してくれる卒業生たち，たいへんうれしいことです。

今年も５１名の６年生が南山小学校を巣立っていきます。一緒に入学し途中で転校していった９名も合わせると６０名の子どもたちが南山小学校で神様と出会い，神様に語りかけ，神様を身近に感じる経験をしてきました。神様に心を向けているときでも神様のことを忘れたときでも，南山小学校に関わった卒業生たちの上に神様の愛がいつでも豊かにあるように祈りたいと思います。

卒業ミサ（第一の掟）

３月１３日（水）の「宗教の集い」では，卒業ミサが行われました。卒業ミサは，６年生が小学校生活の中で在校生といっしょに与る最後のミサとなりました。たくさんの保護者の方もいっしょに参列してくださり，少し緊張した中で卒業ミサは進められました。

卒業ミサを司式してくださった井田神父様は，聖書の中でも神父様が大好きな箇所と言われるマルコ12章28～34節を朗読して次のように話してくださいました。

> イエス様は，すべての掟の中で第一の掟は，「心を尽くし，精神を尽くし，思いを尽くし，力を尽くして，神様を愛すること」だと教えてくださいました。目に見えない神様を愛する最もよい方法は，目に見える隣人を愛することです。つまり，お父さんを愛し，お母さんを愛し，兄弟姉妹を愛し，友達を愛すること，あなたのすぐ近くにいる人を愛することです。南山小学校を巣立っていくみなさん，聖書にも書かれてあるように，「どんなことでも，人からしてもらいたいと思っていることをその人にも同じようにしてあげること」をこれからも大事にしてください。これは，聖書の中の黄金律「ゴールデン・ルール」と呼ばれているもので，人を愛するよい方法です。

今年度で南山小学校とお別れをする井田神父様の最後の教えは，卒業する５１名の６年生にとっても忘れられない教訓の一つになったことと思います。

♧♧ 教室紹介 ♧♧

３年２組　担任　溝上　桃子 先生

笑顔がいっぱいで，とても元気な３年２組のモットーは「た・い・よ・う」です。

た…たすけあう
い…いっしょうけんめいにそうじをする
よ…よく聞く
う…うきうき楽しい

「聞く力」のあるクラスは「話す力」も育ってきます。３年２組は，話し合いがとても上手で，１年間で学び合いの授業がぐんと上達してきました。活発で賑やかなクラスですが，読書も大好きで，物語の中にどっぷりと入り込む静かな時間もよく見られました。今は，種子から育てているカイワレ大根の早い成長に，みんなが驚きと喜びの毎日です。

困っている友達がいたら進んで手を差し伸べる子たち，思いやりのある行動のできる子たち，全員で元気に遊ぶ子たちを見ていて，溝上先生は，いつも（いいなあ，素敵だなあ）とうれしく思ってきたそうです。４年生になっても，いいところをさらに伸ばして，みんなのお手本になって欲しいというのが溝上先生の願いです。

♪忘れないで

１．忘れないで
いつもイエスさまは
君のことを　見つめている
だからいつも　絶やさないで
胸の中の　ほほえみを

２．だけどいつか
はげしい嵐が
君のほほえみ
ふきけすでしょう
だからいつも　離さないで
胸の中の　みことばを

３．忘れないで
悲しみの夜は
希望の明日に　変わることを
だからすぐに　取り戻して
いつもの君の　ほほえみを